

登録者からのご意見（令和6年度への更新登録申込時）

2024年4月22日  
井の頭公園アートマーケット事務局

【全般についての提案や要望など】

**各部門共通**

Q1 書いた意見はしっかりと役立てられているのでしょうか。私達は、読んでいるかもわからないので何かしらの反応がほしいです。

A1 更新申込書のご意見欄に記載いただいた内容はすべて、毎年行われるアートマーケット運営委員会（審査会）にて情報共有をしています。対応については、運営委員会で協議又は、個別に事務局が対応しますが、これまで登録者の皆さまへ全体としての共有はしていませんでした。以下の通り、頂いたご意見へ回答する形で情報共有をいたします。

Q2 ●登録要領及び実施要綱等に定めるルールや義務を守っていないと思われるキャストが数名いるという報告があがってきています。杓子定規にというよりも柔軟性のある運用を望みますが、それでも違反や迷惑行為、違法と思われる行為に対しては厳正な対処をすべきです。アートマーケットのイメージや存続に直結します。

●問題行動をとる人は排除してください。キャストには何の権限もありません。何も解決できないのです。被害者を増やさないためにもお願いします。

●現状での問題点はルールではなくルールの運用にあると思う。特に迷惑防止条例や著作権法、不正競争防止法等に違反している、もしくはその恐れがある状態を黙認している・放置しているとすれば、運営委員会も責任を問われる可能性があります。

A2 複数の方から苦情があったアートキャストへ、事務局とキャスト連絡協議会（会長・出展ルール整備事業部長）でヒアリングを行い、注意勧告をしました。今後も取消事由に該当する等の問題については、必要に応じてキャスト連絡協議会と協力し、随時事務局で厳正な対処をまいります。

Q3 私を含め、来園者とのトラブルや対応等を全キャストで共有して改めて襟を正す機会が必要かと思えます。

A3 トラブルがあった際に、全キャストへ再発防止を踏まえた情報発信が行えるよう検討したいと思えます。

Q4 来場者を増やすため、都・市の広報誌に掲載したらよい。

A4 現在、地域の子育て応援サイトや、情報誌、ウェブマガジン等へアートマーケットの開催情報を掲載しています。井の頭感謝祭の開催情報について、市の広報への掲載を検討します。

Q5 6～8月は開催時間を18時までにしてほしい。

A5 公園管理者（主催者）がいる17時までを開催時間としています。

Q6 3月下旬、4月上旬もアートマーケットを開催していただきたいです。

A6 花見の時期には園内が大変混雑することから、アートマーケットやその他イベントの開催、撮影等による公園地の一時占用許可についてもお断りしていますのでご理解ご協力をお願いします。

Q7 たばこを吸っている登録者がいて懸念している。

A7 出展場所での喫煙は禁止しています。出展確認の際に、見かけた場合は引き続き注意してまいります。喫煙は、受動喫煙のおそれがある場所は控えるよう周囲に人がいない場所をお願いします。

Q8 クリスマス月間等のイベント感の演出をしてはどうか。

A8 現在でも、季節感を盛り込んだ作品展示・販売やパフォーマンス、出展場所の飾りつけ等をされているアートキャストの方が複数いらっしゃいます。今後、キャスト連絡会で取り上げていただき何かしらの取り組みが実現すればと思います。

#### アート部門

Q9 手づくり品でない物を出展しているキャストの取り締まりはキャスト同士ではトラブルの元になりかねないので事務局でお願いしたい。

A9 作品の材料・道具・制作過程については、全登録者から提出されています。手づくり品でないと思われる作品を出展されている方を見かけたら、事務局やキャスト連絡会へご連絡ください。

Q10 販売額上限の見直し。物価高で材料費が上がっているので上限5千円の変更を検討してみてもよいかと思う。

A10 令和6年度井の頭公園アートマーケット運営委員会で協議したいと思います。

Q11 作品の質向上への体制づくり（が必要）

A11 アートマーケット運営委員会では、芸術性の審査はしておりません。今後、アートキャスト連絡協議会との協力の中で、より良い体制づくりについて協議したいと思います。

Q12 遠方からの出展でワークショップの為の机・椅子持参が悩みの種でついつい足が遠のきます。有料での貸出しを期待します。

A12 都立公園内に、アートマーケット用のレンタル什器の置き場を確保したり管理することが難しいことから、ご期待に沿えず申し訳ございません。

Q13 出展数が少なく近づきにくい雰囲気の日があるため、わかりやすい看板やのぼりがあると良い。

A13 現在開催日には A 型看板を出展エリアに設置しています。天気の悪い日や暑さ寒さで出展者が少ない日に、アートマーケットの看板だけが設置されているため、来園者からアートマーケットはどこでやっているのかと問合せを受けることが稀にありますが、台風接近などの理由で開催中止にする日以外は A 型看板を出展エリアに設置しています。

Q14 販売品より手間がかかるワークショップの参加費について、「材料費程度」とあることに引っかけります。(通常販売価格+ワークショップ材料費ということなら問題ないがわかりにくい)

A14 ワークショップは材料費程度で行えるものについては登録可としています。これは、アート部門の主な出展内容を「手作り品を自ら出展・販売」としているためです。ワークショップは副次的な出展と位置付けています。

### パフォーマンス部門

Q15 ステージ前広場を使用できる日を増やしてほしい。

A15 井の頭恩賜公園 100 年実行委員会事業で始まった「井の頭公園アートマーケット」は、井の頭恩賜公園開園 100 年（平成 29 年）で終了予定のところ、開催要望に応じて新たなアートマーケット運営委員会事業として継承されました。その際、静かな井の頭恩賜公園を望む方々の強い反対意見を受け、「ステージ前広場でのパフォーマンスは月一度」と約束をしています。ご理解いただきたいと思います。

Q16 ステージ前は、アートマーケットで使用できない日はヘブンアーティストで使えるようにしてほしい。

A16 井の頭恩賜公園ではアートマーケットを優先しており、アートマーケットが使用できない日は、ヘブンアーティストもお断りしています。理由は、A15 と同様になります。

Q17 水生物園入口前は、樹木剪定後に日陰がなくなってしまったので、テントや日よけになるものを客席に設置してもよいか。

A17 都立公園では公園ごとに広場等の限られた場所において簡易小型テントの使用を認めている場合がありますが、大型テントやタープ、パラソル等の設置については排他的占有となるため認めておりません。アートマーケットにおいても同条件となりますのでご理解ご協力をお願いします。

Q18 西園等に他イベント占有が入り出展できない場合、(代替の出展エリアを確保するために) ステージ前を使用できる日を変更してもらえるのは大変ありがたいので、第 2 (土・日) が花見シーズンで開催できない 4 月も、ステージ前使用日を変更していただけないだろうか。

A18 検討したいと思います。

Q19 出展エリアにパフォーマーが多いので、月に何回と（回数を）決めるのがいい気がする。

A19 出展場所の割振りについてはキャスト連絡会で引続き検討中ですので、参考意見とさせていただきます。

#### 【井の頭感謝祭 2023 についての提案や要望など】

Q20 土日開催を希望する。

A20 2日間開催についてはボランティアスタッフ・職員等の確保が難しいことから、雨天予備日を設けた1日開催としています。

Q21 できれば日曜日開催が望ましい。

A21 雨天予備日の希望が多く、土曜日開催とし、日曜日を雨天予備日としています。

Q22 以前のように、三鷹市の市報へ掲載してほしい（来園者が増え喜ばれます）。

A22 両市と連携し、令和6年の掲載を検討してまいります。

Q23 お祭りなので飲食ブースを期待してきたという来園者からの声があった。

A23 アートマーケットでは食の出展はNGです。アートマーケット開催日に地元武蔵野市や三鷹市の食の出店等を検討課題としていきます。

Q24 開催日に、市内の小・中学校が登校日だった為、お子様連れの来園者が少なく、特にお子様向けワークショップに参加していたキャストは残念だったのではないだろうか。次回は近隣の学校行事などなるべく避けて開催するのも良いかと思う。

A24 参考とさせていただきます。

Q25 当日は気温が低かったので、10月に開催するのもよいと思う。

A25 台風シーズンや、文化祭シーズンを避けてボランティアスタッフの募集を行うため、近年は11月の第2週または第3週を候補日とし、アート部門の登録者の参加も多い「デザイナーズウィーク」の開催日を避けて開催しています。

Q26 景品引換券は開催当日だけ配布する方が、キャストもお客様も分かりやすく良い。

A26 開催前から配布することで、感謝祭への来場のきっかけとして頂くことを目的に事前に配布をしています。

Q27 キャストにもボランティアなど呼びかけてほしい。手伝えることは協力したいです。

A27 前日の風船飾りや、当日の景品陳列などキャスト連絡会を通じてお手伝いを呼びかけていきたいと思っております。ぜひご協力をお願いします。

Q28 今回は景品の在庫があるということで、提供を控えた。来園も景品を募集するのであれば在庫の一覧などを写真にでもして見せて頂けないだろうか。自分の出品物であれば遠景でも見分けがつくので、確認した上で次回の提供を検討したい。

A28 井の頭感謝祭のプログラム選定については、キャスト連絡会へ企画参加者を呼び掛け話し合いの上決定しています。次回も手づくり景品によるお買い物特典を行う場合は、手づくり景品を募集する際、これまでどのような景品が人気だったかなど、工夫して情報発信したいと思います。

Q29 どのくらいの方がプレゼントを引き換えにきたのかがわかると良いと思う。

A29 公表できる機会を検討します。

Q30 景品引換券は好評なので続けて欲しいが、「アートであそぼ」は引換券配布の対象外だったため券を配布できず、(引換券目的で参加された方には)申し訳なかった。

A30 引換券の対象については、次回の感謝祭開催にむけて企画検討会で検討してまいります。

Q31 (アートで遊ぼうに参加)全体としても出展者の間隔をもっと狭めて一体感を出した方が賑わうのではと思う。少しは他のパフォーマンスなりが見えた方が良かっかなと素直に思った。

A31 会場レイアウトについて、次回開催時の参考にしたいと思います。

Q32 今年は晴れたので大丈夫でしたが、テントはワークショップの場合雨風予防のためお願いしたいところ。

A32 井の頭感謝祭は雨天中止のため、「ワークショップのテントは必要ない」「経費削減のためテントはなしで構わない」とのお声が複数あり、今回から無しとさせて頂きました。

Q33 ボランティアの方にはせめて交通費と昼食代を。(寄付金 1 万円のお受け取りをお願いします)

A33 ご提案ありがとうございます。令和6年度感謝祭企画会議にて共有したいと思います。

以上